

ごあいさつ

皆さまには、平素より筑邦銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当行では皆さまに一層のご愛顧を賜りたく、2018年度の実績や取組みなどについてご説明した「筑邦銀行ディスクロージャー誌ちくぎん2019」を作成いたしました。ご一読いただき“ちくぎん”を身近に感じていただければ幸いです。

昨年度のわが国経済は、政府の経済対策などから企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復の動きが続きましたが、地方の中小企業にとっては人手不足感が深刻化しました。金融情勢については前半は欧・米の中央銀行が金融緩和策の出口へと向かいつつありましたが、米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題など種々の不安定要因が意識され、株式・為替市場では先行きに対する不透明感が続きました。

当行の営業基盤である福岡県内の経済は、個人消費や生産活動の緩やかな回復、災害復興需要などにより、全体としても緩やかに回復しましたが、一部の中小企業の景況感や人手不足、資材の値上がり等で厳しい状況が続いております。

こうした経営環境の下、当行は、昨年4月に「中期経営計画2018」（計画期間2018年4月～2021年3月）をスタートさせております。本計画は前中期経営計画の「地域を興し、ともに成長・発展する銀行」というスローガンを継承し、その実現のための基本方針を「お客さま本位の徹底」、「地域創生への貢献」、「強靱な経営基盤の構築」としております。

当行は今後も、お客さまのお取引満足度の向上に努めるとともに、地銀そのものが地方の有力な金融サービス産業であるとの認識の下、堅実経営を遵守し、地域創生と地域経済の活性化に尽力してまいります。

今後ともなおいっそうのご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2019年7月



頭取 佐藤 清一郎